

## 第3章 磐越東線（いわき～郡山）

### 第1節 概要

2022年11月14日（月）からの4泊5日の旅、無事磐越東線（いわき～郡山：営業キロ85.6km、単線の非電化）の踏破に加え、船引駅で待望の**1万4千キロ**を突破する。これでいわき駅から郡山駅経由で磐越西線の会津若松駅までの150.2kmが繋がる。



※船引駅で1万4千キロ踏破！！

今回の旅は前方に山が立ちはだかり（列車はトンネル）、苦しい区間も多々あったが、地図と第六感を頼りに無事全駅舎立ち寄りに成功する。また、初日雨の中、沿線の紅葉を鑑賞できた他、草野心平生家にも立ち寄ることができる。更に、郡山の夜、5年前にお邪魔した夢一膳のマスターと再会でき感動した。旅はいいものですね。



※11月15日の紅葉、11月16日の紅葉（夏井川、竹）



※草野心平生家



※夢一膳にて

これで通算営業は、**1万4千25 km**（活動日数 687 日、日本の鉄道の 50.6%、地球円周の 35.0%）達成する。



※郡山駅で磐越東線踏破！！

## 第2節 旅プラン

磐越東線の旅（営業キロ 85.6 km）

○11月14日（月）晴れ

ひたち13号 上野13:00 → いわき15:13

いわき泊（東横インいわき駅前：0246-25-1045）



○11月15日（火）雨

いわき6:42 → 川前7:16

川前～江田～小川郷～赤井～いわき（26.3 km）

いわき泊

○11月16日（水）晴れ

いわき6:42 → 川前7:16

川前～夏井～小野新町～神俣～菅谷（23.6 km）

菅谷14:47 → 郡山15:37

郡山泊（ホテルグローバルビュー：024-932-3232）



○11月17日(木) 晴れ

郡山 7:59 → 菅谷 8:41

菅谷～大越～磐城常葉～船引～要田～三春 〈23.8 km〉

三春 16:08 → 郡山 16:22

郡山泊

○11月18日(金) 快晴

郡山 6:52 → 三春 7:06

三春～舞木～郡山 〈11.9km〉

つばさ 138号 郡山 12:31 → 大宮 13:23

### 第3節 初日：11月14日（月）：いわきへの移動 晴れ

2022年11月14日（月）晴れ、磐越東線の初日は、自宅から特急”ひたち13号”（仙台行き）でいわきまで移動。水戸まではノンストップであったので快適であった。加えて、常磐線が全面開通して嬉しくなった。水戸までの道中、サラリーマンの姿が多々あった。水戸からいわきまでの停車駅は、勝田、大甕（おおみか）、常陸多賀、日立、高萩、勿来（なこそ）、泉、湯本であった。十数年前の懐かしい常磐線の踏破を思い出しながら、沿線の風景を堪能する。中でも、かつて若い頃弟が在住していた日立駅界隈や冷夏のため閑古鳥が鳴いていた勿来海岸、そしてナイターを聞きながら暗闇を歩いた植田から泉までの山間の懐かしい記憶が蘇る。いずれにしても上野からいわきまでの旅は、新幹線の旅とは異なる情緒を味わえ最高であった。



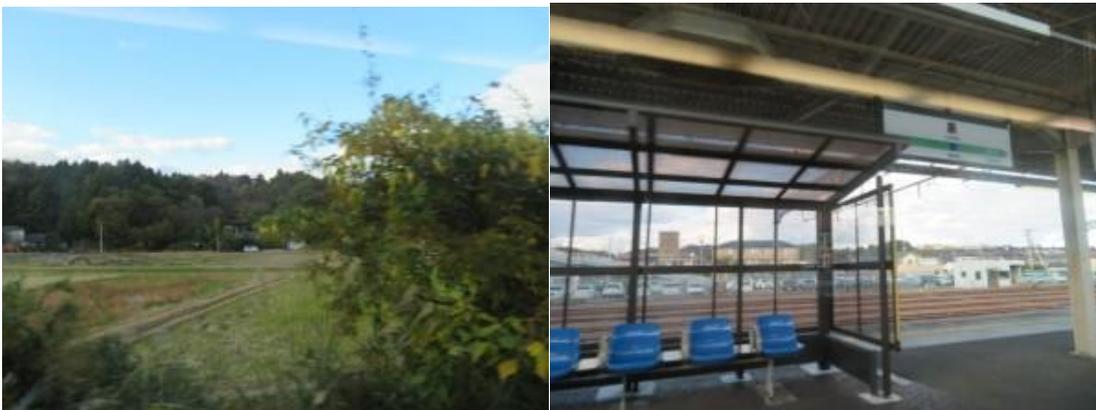
※上野駅



※水戸までの沿線の風景、勝田駅



※大甕駅、日立駅



※泉駅への路、泉駅

いわき駅を見るや否や常磐線踏破当時中核として利用させて頂いた駅なので懐かしくなる。特に、今回宿泊した”東横インいわき駅前”は、東横インの会員になったホテルで印象深い。また、”こだわり鉄道つたい歩き”九条に写真をカッシー館に公開している。一方、本日夕食に立ち寄った”漁夫”も店に入る

や否や十数年前お邪魔した店であることを思い出し懐かしくなる。この店で明日からの英気を養う。



※いわき駅



※漁夫で英気を養う

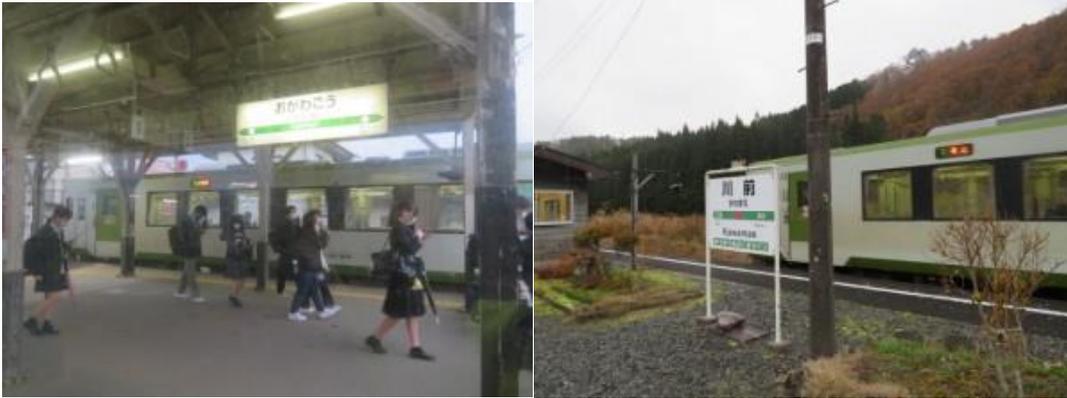
## 第4節 2日目：11月15日（火）：川前～いわき 雨

2022年11月15日（火）雨、磐越東線の旅の二日目は、川前駅からいわき駅までの26.3kmに挑戦する。本日は想定外の雨の悪環境の中、今回の旅で最も長い区間に挑戦する。何と次の通り、県道41号線（小野四倉線）を歩き、7回も鉄道を横切る場面に遭遇する。この県道は狭い道路幅も多々あり、途中で行き止まりになるのではないかと疑心暗鬼となったが、途切れることなく少なくとも小川郷駅界隈までは続いていた。それ故、小川郷駅界隈までは歩きやすいコースであった。

No	踏切名	到着時刻	対鉄道
1回目	関の沢踏切	8:01	左→右
2回目	山前踏切	8:15	右→左
3回目	大滝踏切	8:32	左→右
4回目	江田踏切	9:53	右→左
5回目	磐越街道高崎踏切	10:45	左→右
6回目	小玉踏切	12:38	右→左
7回目	跨線橋	14:27	左→右



※東横イン、いわき駅



※小川郷駅（高校生で一杯）、川前駅

各駅舎の到着時刻は次の通り。

川前(7:26)～江田((9:44)～小川郷(12:20)～赤井((14:05)～いわき(15:35)

①7時41分、夏井川を渡り、8 km先にある江田駅を目指す。本日は曇りと思っただが、傘が離せない一日となった。幸いなことに、風もなく助かった。江田駅までの区間は、踏切に3回遭遇しながら、紅葉を堪能しながら歩く。右手には夏井川があった。8時57分、民家がある牛小川踏切限界で郡山方面の列車と対面する。9時31分、郵便職員さんと対面。「江田駅は近いですか」とお伺いする。「まだまだあります」との回答。ここから700 m位先に、本日最初の江田駅(9時44分)があった。いつも最初の駅に到着するとホッとすると同時に感動で一杯となる。



※川前駅



※江田駅への道筋



※牛小川踏切で郡山方面の列車と対面



※江田駅





※江田駅

②江田駅で雨があがったと思いきや江田踏切境界でまた雨となる。終日このような天気となる。90歩ある香後橋を渡る。10時25分、洞門を通過する。磐越街道高崎踏切を横切って暫く歩くと加路川（45歩）があった。11時35分頃、草野心平生家の案内板も見つけ立ち寄ることにする。右往左往して10分位歩いて、生家に到着。ここで10分位滞在し、鑑賞する。近くの住人の係員が2名いた。写真撮影もOKとのことで、立ち寄り記念にとらせて頂く。



※洞門を潜る、高崎踏切。小川郷駅への路



※常磐交通（高崎バス停）、加路川



※草野心平生家

「どこからお見えになったのですか」と聞かれる。チラシを渡しながら、「神奈川県から磐越東線を歩くために来ました」と回答。また当方からも「草野先生はご存命ですか」に対し、「草野先生は38年位前に他界された」と。

「小川郷駅は遠いですか」に対し、「この道筋を歩いた先に太鼓のような橋があります。その先に小川郷駅があります。男性の足だと20分位で到着します」との回答あり。御礼を言って、小川郷駅を目指す。教えてもらった道筋を歩いた先に小川郷駅（12時20分）があった。



※小川橋、小川郷駅



※小川郷駅



※小川郷駅

③赤井駅への道筋は、鉄道方向に注視して進む。12時34分、小玉橋（91歩）を渡る。しかし、小玉踏切への道筋においてガードレールが続き、地図に示す道筋に進路変更できない。200m位歩いた先でこのまま歩くと、とんでもない方向に進行する恐れがあると判断し引き返す。5分位ロスタイムが生じる。しかし、想定外の道筋を歩いても、途中、陸橋にて合流できる選択肢は残っていた。引き返し、小玉踏切を横切り、鉄道の左側となる。13時39分、雨上がる。赤井駅には14時5分到着。



※赤井駅への路



※赤井駅



※赤井駅

④赤井駅から少し歩いた先でT路地となり、右往左往する。確認しようと思うが通行人の姿なし。やむを得ず、これまでの第六感により、左の方向に進む。結果大正解であった。いわき市の街並みを歩き、14時27分、JR線を跨いで歩いた先にいわき駅（15児35分）があった。



※いわき駅への路



※いわき駅への路、いわき駅

⑤ホテルで汗を流した後、居酒屋”みこし”に立ち寄り、本日の疲れを癒す。  
続く！！



※居酒屋”みこし”で英気養う